

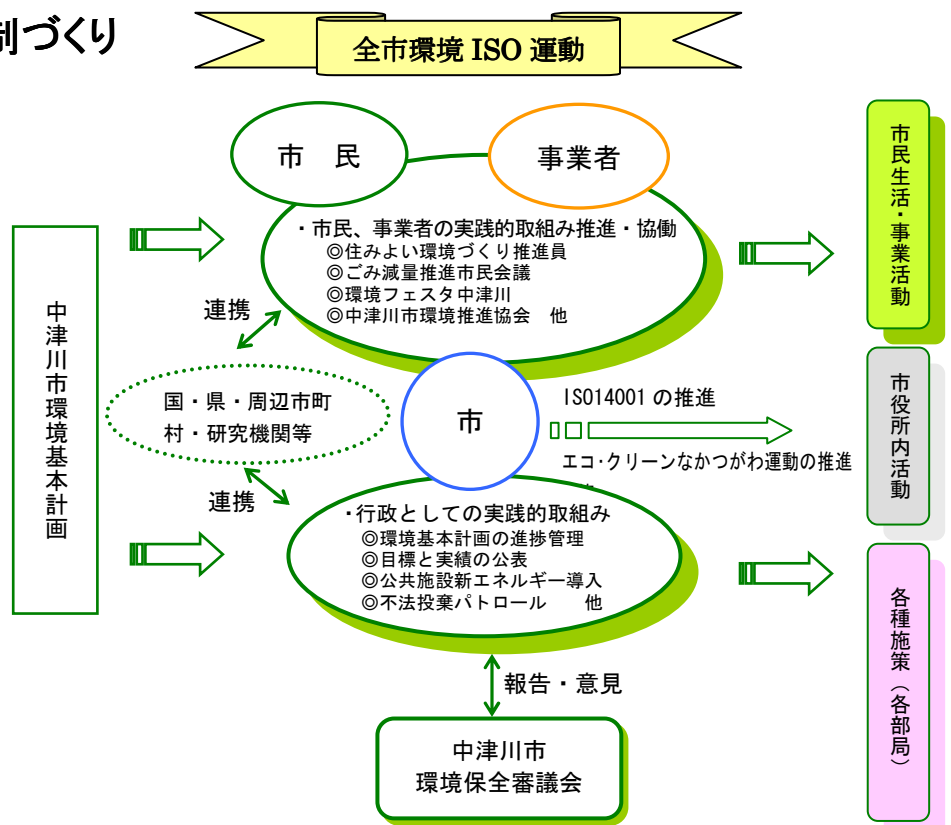
第7章 計画はどのように進め、管理していくのか

本計画を効率的かつ確実に推進していくためには、市民、事業者、市が連携、協働して取り組んでいく必要があります。また同時に、その取り組み状況を把握し、施策の実効性や目標の妥当性などを絶えず点検し、計画を継続的に進捗管理することも重要になってきます。

なお、計画の推進にあたっては国、県、他市町村との連携のもと積極的に行うとともに、農業協同組合や森林組合、漁業協同組合といった関係機関とも協調していきます。

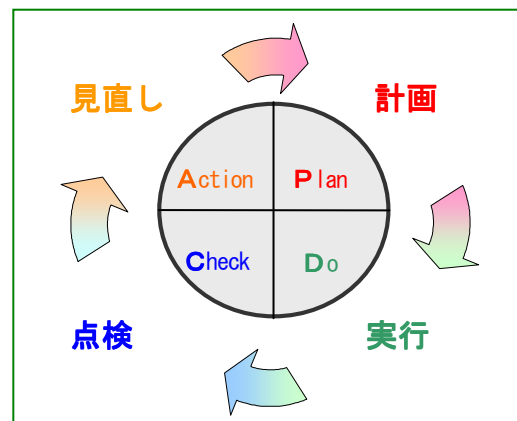
1. 計画の推進体制づくり

市では、右のような推進体制により、市民・事業者・市が協力しあい、良好な環境づくりを進めていきます。この、各主体が連携し、環境について学び、考え、行動していく運動を「**全市環境ISO運動**」として位置づけ、推進していきます。



2. 推進（進捗）管理の方法

進行管理は、環境マネジメントシステムの考えに基づき、PDCA「計画（Plan）、実行（Do）、点検（Check）、見直し（Action）」を繰り返すことによって行います。



3. 目標となる環境指標と数値について

環境基本計画では、下記の表の通り目標となる環境指標を特定し、数値目標を設定して進捗管理していきます。事業計画と実施状況については、「中津川市の環境」として公表します。

なお、環境指標や目標数値は毎年見直し、実情に合った数値に修正します。

環境指標	現状等 (平成 17 年度)	数値目標等 (平成 27 年度)
○水質汚濁負荷の削減		
・ 公共下水道の整備面積 (全体計画面積 1,210ha)	628.89ha	942ha
・ 特定環境保全公共下水道 (落合・苗木) の整備面積 (全体計画面積 203ha)	140.17ha	203ha
・ 特定環境保全公共下水道 (山口・坂下・付知・福岡・ 蛭川) の整備面積 (全体計画面積 444ha)	438.9ha	444ha
・ 農業集落排水 (下洗井・坂本北部) の水洗化戸数	647 戸	769 戸
・ 農業集落排水 (川上・加子母・福岡・蛭川) の水洗化戸数	1,433 戸	1,597 戸
・ 農業集落排水 (阿木: 計画中) の水洗化戸数	0 戸	376 戸
・ 合併処理浄化槽設置基数	2,985 基	3,700 基
○クリーンエネルギー設備設置世帯数 (太陽光発電システム)	250 件 (累計)	500 件 (累計)
○自然エネルギー活用公共施設数	太陽光発電 7 件 (累計)	10 件 (累計)
○ごみの減量 (平成 12 年度比)	25,230t/年	20%減量
○ごみの減量化・リサイクル化等に関する出前講座等開催数	6 件/年	20 件/年
○資源ごみ回収量 (カン・ビン・ペットボトル)	1,134t/年	1,300t/年
○リサイクルボックス設置数	34 カ所 (累計)	60 カ所 (累計)
○生ごみ処理機の世帯普及率 (コンポスト含む)	18.68% (累計)	20.00% (累計)
○集団資源回収量 (PTA 等)	4,578t/年	4,700t/年
○森林整備施業面積 (主たる間伐も含む)	427.23ha/年	維持
○体験会 (キャンプ等) 実施校数	15 校	19 校
○市民 1 人当たりの都市公園等面積	8.86 m ² /人	9.29 m ² /人
○都市公園数	27 カ所 (累計)	28 カ所 (累計)
○親水施設	8 カ所 (累計)	8 カ所 (累計)
○農用地面積	4,192ha	4,000ha
○学校農園数 (借地含む)	14 校	20 校
○環境保全型農業に取り組む農家数	35 戸	120 戸
○小中学校の環境学習取組み校数	31 校	31 校
○環境センターの見学	15 校	19 校
○こどもエコクラブの普及	2 クラブ	活動の推進

環境家計簿をつけてみよう

地球環境問題には様々な要因が複雑に絡み合っていますが、環境家計簿は、その中でも地球温暖化問題を取り上げ、この問題を解決するために市民のみなさんに協力してもらうものです。地球温暖化の主要な原因は、二酸化炭素（CO₂）排出量の増加です。このCO₂は、私たちの生活のありとあらゆる場面から排出されていますので、私たち一人ひとりの努力で少しでもCO₂の排出量を減らしていかなければなりません。

このCO₂排出量の削減は、ほかの様々な環境問題にも良い結果をもたらします。例えば、みなさんの生活には水道の利用は欠かせませんが、上下水の浄化のためには、膨大な電力が消費されます。この電力を供給するために、火力発電所では大量の石炭や石油が燃やされ、その結果、膨大なCO₂が発生します。そこで、なるべく水を使わない、汚い水を流さないということが重要になるのですが、そのことが結果として、水資源の保護や川や海の水質汚濁の防止にもつながります。

また、CO₂の排出量を減らす努力は、家計の節約にもつながります。家庭で消費される電力を発電するために膨大なCO₂が発生します。そこで、少しでも電力の消費を少なくすることが重要ですが、その結果、電気代が安くなるのです。

このように、環境家計簿は、CO₂の排出量を減らす行動を実践することにより、地球温暖化を防止するとともに、ほかの環境問題の解決にも貢献し、なおかつ家計の節約にもつながります。

さあ、みなさんも環境家計簿をつけてみましょう。

環境家計簿の例

項目・単位	1月				2月		
	使用量	CO2係数	CO2排出量	金額	使用量	CO2排出量	金額
電気(kwh)		×0.12	kg	円		kg	円
LPガス(m ³)		×1.8	kg	円		kg	円
水道(m ³)		×0.16	kg	円		kg	円
ガソリン(リットル)		×0.64	kg	円		kg	円
灯油(リットル)		×0.69	kg	円		kg	円
アルミカン(本)		×0.05	kg	リサイクルに出したものは除いて下さい		kg	リサイクルに出したものは除いて下さい
スチールカン(本)		×0.01	kg			kg	
ペットボトル(本)		×0.02	kg			kg	
ガラスビン(本)		×0.03	kg			kg	
紙パック(本)		×0.04	kg			kg	
食品トレイ(枚)		×0.002	kg			kg	
ごみ(kg)		×0.24	kg		—	kg	
合計	—	—	kg	円	—	kg	円

例えば、こんな取組み

テレビを1日1時間消すと、1年で40.2kwh (CO₂換算で3.4m³)の節約です。

食器洗いを低い温度(40℃から30℃へ)にすると、1年でガス31m³ (CO₂換算で13.9m³)の節約です。

1日5分不要なアイドリングをやめると、1年でガソリン25.6L (CO₂換算で11.5m³)の節約です。

1日3分水の出しっぱなしをやめると、1年で19,710L (CO₂換算で2.24m³)の節約です。

資料：環境家計簿運動のすすめ（(社)環境情報科学センター）